

2024年3月11日

報道関係各位

株式会社 Goolight

## 【信州ブランドアワード2023】 「bota」がしあわせ信州部門 部門賞を受賞

株式会社 Goolight(長野県須坂市:代表取締役社長 丸山康熙)は、このほど開催された「信州ブランドアワード 2023(主催:長野県デザイン振興協会)」において、当社の取り組み「人をつなぎ、地域をつなぐ 須坂の新しい拠点 —bota—」が「しあわせ信州部門」の部門賞を受賞しました。

「bota(ぼーた)」は、須坂市子育て就労総合支援センターの愛称であり、2022年7月「地域に暮らすすべての人にとっての“最高のサードプレイス”」となることを目指した複合施設として、働く×交わる×学ぶ×育てる=「働×交×学×育」をコンセプトにオープンしました。長年空洞化していた須坂駅前の商業ビル・シルキービルの1階を当社が取得し、官民共創プロジェクトとして整備し、指定管理者として運営しており、子育て支援・女性就労支援・市民交流・情報発信拠点など様々な角度から須坂市民はもちろん、地域の生活を支え、“人をつなぎ、地域をつなぐ”場所づくりを行なっています。



bota 館内

「bota」という愛称は、須坂の蔵の街並みに見られる「ぼたもち石」という石垣がモチーフになっており、かつて製糸業で栄えた須坂の暮らしと営みを100年以上に渡って支えてきた“土台”です。この施設もぼたもち石のように地域に暮らす人々の“土台”になればと想いを込めて名付けました。



人をつなぎ、地域をつなぐ  
ここが私のサードプレイス

ロゴマーク



須坂市内に残る「ぼたもち石」の石垣

2022年のオープン以降、botaへの来館者数は2024年2月末現在で延べ172,000人となり、須坂市だけでなく、長野県北信地域の憩いの場、地域のにぎわい創出の場として大きく貢献しています。今後もGoolightではbotaが“地域のハブ”として関係人口を増やし、地域活性化の拠点となるよう、引き続きにぎわい創出に寄与するイベントを積極的に実施してまいります。

須坂市が多くの人のため魅力ある町(ブランド力の強い町)となり、その推進役としてbotaが常に存在していけるよう、今後もGoolightは多様なパートナーシップをフルに活用し様々なプロジェクトに挑戦してまいります。

報道関係者の皆様におかれましては、この機会に貴媒体でご紹介いただければ幸いです。  
今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

---

<信州ブランドアワードについて>

長野県を拠点とし、独自のブランドづくりを目指す企業・団体・自治体等の事業者により事業化され、長野県内外に発信されているブランド・デザインを選定し表彰している。2004年から始まり今回で20回目の開催となる。

※信州ブランドアワード公式サイト

<https://sba.ndpa.jp/>



---

◆株式会社Goolight <https://www.goolight.co.jp>

1989年8月開局。長野県須坂市・小布施町・高山村をエリアとするケーブルテレビ局。「顧客感動度ナンバーワン宣言」のもと、テレビ、インターネット、IP電話、光コラボ「ながの光」サービスなどを展開。これまでに日本ケーブルテレビ連盟主催のベストプロモーション大賞をはじめ、番組アワード、地方の時代映像祭、4K徳島映画祭など各賞を受賞。産学官連携事業やシティセールスプロモーション、地域コンテンツの海外展開など地方創生事業を幅広く展開している。

<本件に関するお問合せ>

株式会社Goolight／経営企画本部 bota事業部 岩下正志 牛田日和  
TEL:026-246-1222 E-mail:[bota@goolight.co.jp](mailto:bota@goolight.co.jp)